

一般質問

町政を問う

今回5名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 14

1. 台風19号防災管理について
2. 子育て支援対策について
3. がん検診について
4. マイナンバーカードについて

河原井 大 介 議員 …………… 15

1. totoの助成金について
2. DMOについて
3. イノシシ対策について
4. 教育施設への防犯カメラの設置について

桜 井 和 子 議員 …………… 16

1. 風疹ワクチン接種について
2. インフルエンザの予防接種助成対象者枠の拡大について
3. 布団類の回収・処分の状況について

猿 田 正 純 議員 …………… 17

1. 太陽光発電
2. 団地建て替え
3. 人口減について
4. メンタルヘルスについて

三 村 孝 信 議員 …………… 18

1. 役場職員の雇用形態について
2. 人口減社会への対応について
3. 地方議員・首長選挙の低投票率への対応について
4. コロナウイルス対策について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

台風19号防災管理について



あじまこ ふみこ 議員
藤咲 芙美子

《町長》 説明会の回数を検討したい



藤咲 台風19号の被災では町民の方が

ボランティアの方が苦勞をされた。被災時には、町は条例に基づく災害対策本部を設けて対応するものだ。なぜ、災害対策本部を設置して1日で災害警戒本部に切り替えてしまったのか。

町長 対応が順調に進んだ結果と認識している。

総務課長 移行は適切だった。

藤咲 災害対策本部条例は114の事務分掌を全庁が一体となつて取り組むと明示している。町長の答弁は、例規にないその場しのぎの対応であることが分かった。それでは町民の命は守れない。

被災者の住民の相談窓口の一本化は、役場の最低限のサー

ビス。一括での対応を求める。

町長 一定期間たった後、住民向けの説明会を行った。今後説明会の回数を検討したい。

子育て支援対策について

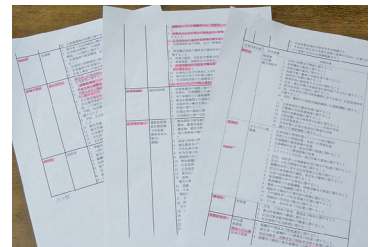
《町長》

国民健康保険税の均等割減額は難しい

藤咲 国保は健康保険制度のセーフティネット。所得が少ない被保険者の負担は増える一方だ。国保税の均等割の減免を求める。特に子どもの減免は子育て支援策として重要。

町長 ほかに子育て支援を行っている。減額は難しいと思われる。

藤咲 母子家庭でダブルワーク、トリプルワークで頑張っ



114の事務分掌



子供たちに減免を

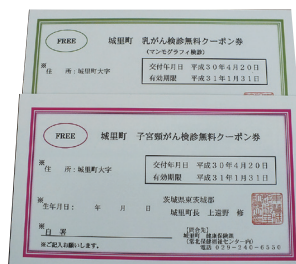
がん検診について

《健康保険課長》

インターネット予約ができるよう準備している。

藤咲 がんは早期発見による早期治療が求められるっており、特に若い世代は早期発見が鍵。PRは小中学校から実施することが重要ではないか。

健康保険課長 受診率向上のため、イン



がんクーポン

マイナンバーカードについて

《町長》

カードがないと行えない行政手続きはない

藤咲 マイナンバーカードは情報の漏洩が頻繁に起きている危険な状態だ。町において普及を進めるために、町長自身が職員に強要してはならない。カードは

町長 マイナンバーがないと行えない行政手続きは現在のところない。



かわら い だ い す け
河原井 大介 議員

totoの助成金について



《町長》 toto助成金は、まだ入金がない。

河原井 アツマーレのグラウンドとトレーニングマシンは、

3年前に、totoから助成金の交付決定を受け工事会社に対してすでに支払い済みである。

このtoto助成金約4,100万円が城里町にいまに入金されていないことは事実なのか。

町長 toto助成金については、まだ、町に入金(約4,100万円)がない。

※toto 独立行政法人日本スポーツ振興センター

※詳細については、城里町議会ホームページ内、一般質問のYOUTUBE配信をご覧ください。

DMOについて

《まちづくり戦略課長》 県の御前山・那珂川橋掛け替え計画による道の駅の動きを勘案しながら進めていく。

河原井 DMOについては、今年1月には、法人登記をするという明確な方向性を打ち出していたと聞いていたが、現在の進捗状況・今後は、

《まちづくり戦略課長》 茨

城県の御前山・那珂川大橋の架け替え計画により、当事業の起点となる道の駅かつらの移設等が考えられる。県の計画・道の駅を勘案しながら進めていく。



「4,100万円がまだ入金されていません」
(七会町民センター・アツマーレ)



イノシシ対策について

《町長》 食肉加工処理施設の整備は、豚コレラの拡散を見ながら検討する。

河原井 東京農業大学との連携事業で七会給食センター跡地で行ってきた、野生イノシシの捕獲・食肉加工、皮加工、肉の販売等のプロジェクト事業は、今後どのような展開になるのか。

町長 当初、来年度から食肉加工処理施設整備を計画していたが、豚コレラの感染拡大が懸念され、野生イノシシへの感染も危惧されており、今後の豚コレラの拡散を見ながら検討をする。

教育施設への防犯カメラの設置について

《教育長》 全校への防犯カメラ設置を検討する。

河原井 地域の防犯と子供たちの安全の為に、小中学校等への防犯カメラの設置の検討は、

教育長 子供や教職員の安全確保、防犯上の抑止力を考慮し、城里町内小中学校、全校に防犯カメラを設置を検討する。

風疹ワクチン接種について



さくらい かずこ 議員
桜井 和子 議員

《健康保険課長》抗体検査、ワクチン接種を受けてもらえるよう十分に周知する。



桜井 40歳から57歳の男性は、風疹の抗体検査とワクチンの接種は無料という内容について伺う。

町長 風疹の感染拡大を防ぐため、公的な予防接種を受ける機会がなかった世代に3ヶ年計画で実施する。町から無料クーポン券を送付した。

桜井 対象者は何人いたのか。また、抗体検査をした人、接種をした人は何人いたか。

健康保険課長 対象者818人中、抗体検査実施者124人、ワクチン接種者39人。

桜井 無料クーポン券に有効期限はあるのか。

健康保険課長 ある。今年度の対象者は2年間延長となった。

桜井 抗体検査、ワクチン接種はどこ

区分	抗体検査実施者数	ワクチン接種者数	合計
1	124	39	163
2	124	39	163
3	124	39	163

風疹クーポン

の病院でもできるのか。

健康保険課長 職場や町の健康診断、全国の協力医療機関で受けられる。

桜井 受診の周知と啓発についてどのように考えているのか。

健康保険課長 多くの方に抗体検査、ワクチン接種を受けてもらえるよう十分に周知する。

インフルエンザの予防接種助成対象者枠の拡大について

《町長》
今後検討していく。

桜井 インフルエンザの予防接種助成を高校生まで拡大する考えはあるか。

町長 今後の状況を確認しながら検討していく。

布団類の回収・処分状況について

《町長》
新しい事業の在り方について検討していく。

桜井 布団類の個別回収が実施されたが、利用者は何件あったか。

町長 申請者24名。回収は3日間に分けて実施する。

桜井 対象者枠が非常に狭いとの声があったが町への問い合わせは、

2件の問い合わせがあった。

桜井 短期間の申し込みだったが利用者は多い。町民のニーズは高いのではないかと。対象者枠を広げるべきと思うが。

町民課長 実施した結果を精査し検討する。

桜井 家具、剪定した枝なども個別回収して欲しいとの声もあるが。

町長 ごみ出し支援に特別交付税の措置があると聞いている。今後事業化できるか、検討していく。





さるた まさひろ
猿田 正純 議員

太陽光発電



《税務課長》太陽光発電設備の用地は近傍宅地の50%を採用している。

猿田 町は計画のある開発促進が出来るか。

まちづくり戦略課長 町

は「国土利用計画法」に基づき、都市開発事業においては都市建設課へ、森林については農業政策課へ、農地については農業委員会へ届け出るようになっていく。

猿田 太陽光用地の固定資産税率はいくらか。

税務課長 本町の太陽

発電設備の用地は近傍宅地の50%を採用。

猿田 太陽光を作りたいときはまちづくり戦略課に相談する事と、将来支障が出たときは、県と協議する事を要望する。

団地建て替え

《町長》

民業圧迫にならないようすすめたい。

猿田 事業期間は7年〜10年、総工費約11億円ということだが、その予算の内訳は。

町長 社会資本整備

備総合交付金、起債、公営住宅建設事業債、一般財源である。

メンタルヘルスについて

《町長》

一人でも多くの職員が生き生きと働ける職場にしたい。

猿田 最近の中途退職者数と療養休暇者数と理由は。

総務課長 30代以下の

退職者は10名。2月末で5名の療養休暇者、内4名が精神的理由。

猿田 若い職員の中途退職が見受けられるが、職場環境に問題はないのか。

町長 一人でも多くの職員が生き生きと働ける職場にした

人口減について

《町長》

健康寿命を延ばし、出生率を上げる

猿田 人口減少に

町長の施策は。

町長 団地の建て替え、各種子育て支援。

猿田 町の人口は、本年1月1日現在で18,352人であり、2045年には40%減少する

と予測されている。

2045年の推定を世代別で見ると、0歳から14歳が70%減、15歳から64歳の働き世代が65%減、65歳から74歳が横ばいなのに対し、75歳以上は、120%増の超高齢化社会を迎える。

るがその対応は。

町長 健康寿命を延ばし、出生率を上げる政策を考えている。

猿田 病院誘致の進捗は。

町長 進展はない。

猿田 財政的危機でなければ、一般職員の待遇改善が先ではないか。

猿田 特別職の給与カット復活議案より、職員の残業代及び旅費カットの条例改正が先ではないか。

町長 今後の検討課題だ。財政的危機ではないので、特別職の給与を支払いた

人口減社会への対応について



みむら たかのぶ
三村 孝信 議員

《町長》町営団地の建設については、意見を聞きながら整備していきたい。



(1)コンパクトシティ構想

三村 合併時に

23,464人だった人口が、令和元年には19,552人まで減少した。推計人口によれば20年後

の茨城県人口は47万人減少し242万人になると予想されている。城里町は10,800人位に

なるらしい。人口減

は避けられないとすれば、社会資本を集める「コンパクトシティ」を考

えるべきではないか。町長 人口減と高齢化に対応するため、国交省も「コンパクトシティ」を推進している。立地適正化

(2)町営住宅のあり方

三村 水戸市には

2,800戸の市営住宅があり、入居戸数は8割超の2,400戸だ。このうち5割

が65歳以上の世帯で、しかも単身の高齢者が増えている。主に子育て世代を対象に

していた時代とは、町営住宅の果たす役割が変わってきているのではないか。公

営住宅には、ひとり

親世帯や経済的な困窮世帯の受け皿としての役割を担って

もらいたい。町長 数十戸の公営住宅が並ぶとき、多様なタイプを混ぜ

こんだほうが良いとされている。石塚地区の南団地と米沢団地は今後7年〜10年かけて取り壊しと建

コロナウイルス対策について

《教町長》

小中学校の卒業式は、出席者を限定して実施する予定。

三村 2月27日

に、政府から臨時休業要請があったが、当町での教育委員会

の対応は。

教育長 3月2日〜24日までの町内全小中学校の休校を決めた。休校中は預け先のない児童のために教室を開放した。学

童クラブを希望する児童は受け入れ可能人数の半数程度だった。小中学校の卒業式は出席者を限定して挙行する予定だ。

その他の質問

- ・ 役場職員の雇用形態について
- ・ 地方議員・首長選挙の低投票率への対応について



現在は、政策空き家になっている南団地住宅